

コミュニティ・プラットフォーム事例集

(令和3年度コミュニティ・プラットフォーム整備促進事業)

community platform report



目次

- ・隈之城地区コミュニティ協議会（薩摩川内市）
- ・藤本地区コミュニティ協議会（薩摩川内市）
- ・高山地区公民館（日置市）
- ・高田地区公民館（南九州市）
- ・宮脇地区公民館（南九州市）
- ・松原なぎさ校区コミュニティ協議会（始良市）
- ・大野づくり計画策定・推進委員会（垂水市）
- ・高隈地区コミュニティ協議会（鹿屋市）

取材後記

What's COMMUNITY PLATFORM

コミュニティ・プラットフォーム（コミプラ）とは、主に小学校区や中学校区などの範囲において、自治会、NPO、企業、青年団、老人クラブ、子ども会など多様な主体が連携・協力して、地域の課題解決等に自主的・持続的に取り組んでいくための基盤となる組織のことで（市町村によって名称や体制は異なります）。

県では、共生・協働の地域社会づくりを実現する仕組みとして、コミュニティ・プラットフォームの整備を促進しています。

この事例集は、鹿児島大学法文学部法経社会学科地域社会コースの片野田ゼミ（自治体政策論）所属の大学生が中心となって、取材・執筆・編集を行いました。

community platform report

隈之城地区コミュニティ協議会（薩摩川内市）

せんだんの木が照らすコミュニティの絆



隈之城地区イルミネーション

地区概要

薩摩川内市中心部の商業施設や病院等が多くある地区。交通の便が良く、人口は増加傾向にある。自治会加入率68%（世帯数ベース）。

コミプラ設立の経緯

市町村合併により薩摩川内市が誕生したことを契機に、住民が主体となってまちづくりを担う新たな組織として、小学校区を範囲としてコ

ミュニティ協議会を設立。設立にあたっては、地区がどのように変わるのかについて、住民に理解を深めてもらうための説明会を実施した。

住民が1万人以上の大規模な地区であることから、多くの住民の声を効率的に反映できるよう、各団体の代表や自治会を「代議員制」とするなど組織構成を工夫しているほか、事業を全体事業と部会事業に分け、予算執行や運営が効率的に行えるよう工夫している。

特徴的な活動

①地区全体で取り組む大規模イベント

全体活動として、「くまのじょう夏まつり」、「地区ふるさと運動会」、「コミュニティ・フェスタ（地区文化祭）」を開催しているほか、薩摩川内市主催の「はんやまつり」には地区として参加している。

開催イベントは、協議会役員と部会で実行委員会を組織し、地区内の学校、消防団・青年団などの各種団体、地区内の企業が連携・協力し、大規模地区ならではのイベントとして盛大に開催している。こういったイベントは、住民同士の交流の場となると同時に、地域外から人を呼び込むことにつながり、地域の活力を生み出している。



隈之城地区運動会



はんやまつり

②イルミネーションの設置や広場の整備など住民が集まれる場づくり

災害被害にあわれた方やコロナ下において懸命に対応されている医療従事者、休校でストレスのたまった子どもたち、苦しい時期に頑張った地区のすべての方々に対して敬愛の念を込めて、地区の小学校の校庭の真ん中のせんだんの木にイルミネーションを設置した。

設置は、地区内で電気工事や建築などに関わる住民のボランティアにより行われ、点灯に合わせて小学校の金管バンドや中学校の吹奏楽によるミニコンサートを開催した。コロナで様々な影響が出る中で、住民の心を癒す場となった。

また、薩摩川内市が整備を行い令和2年4月にオープンした大原野池公園パークゴルフ場の指定管理者となり、地区住民の集う場所として、パークゴルフ大会の開催や子どもたちの活動を行うなど活用している。地区内を流れる川の堤防や河川敷も、管理者の許可を得て桜の植樹など住民で整備・管理し、住民憩いの場となっている。



隈之城地区イルミネーション

今後の展望（コミプラの声）

隈之城地区は転勤族や集合住宅に住む人が多いことから、地域の魅力に気付いていない住民も多く、また自治会への加入率が低い現状があるが、コミュニティ活動の魅力を最大限発信し、自治会に参加をしていない人の活動への参加を促していきたい。

薩摩川内市から一言

現在会長が市のコミュニティ協議会連携組織の会長も務めており、本市の地区コミュニティ協議会を牽引されている存在でもあります。この地区の成功事例を他の地区に伝えるなど、引き続き他のコミュニティと連携した活動をしていただきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・薩摩川内市地区コミュニティ活性化事業補助金（基本コース）（市）（R3年度）
- ・薩摩川内市快適環境づくり補助金（市）（H30年度）
- ・緑の募金助成事業（公益財団法人がごしまみどりの基金）（H30年度）



薩摩川内市市民活動情報サイト
（隈之城地区のページ）

Passion

人口が多いからこそ協力大事！
状況に応じた柔軟な活動を！

小さな拠点から大きな魅力を発信



藤棚

地区概要

薩摩川内市南部の山間部にある、6自治会で構成される地区。小規模の水田や棚田が多い。薩摩川内市景観重要資産第1号の「藤本滝」や、きれいな藤の花が咲き、毎年多くの方が訪れる「藤棚」など、豊かな自然景観を有している。薩摩川内市街地のほか、鹿児島市・日置市・いちき串木野市からのアクセスがよい。

コミプラ設立の経緯、拠点整備

市町村合併により薩摩川内市が誕生したこと

を契機に、住民が主体となってまちづくりを行う新たな組織として、小学校区を範囲としてコミュニティ協議会を設立。

平成30年に市の「小さな拠点づくり事業」のモデル地区として決定され、交流拠点「抛り所ふじもと」を整備した（令和2年1月完成）。整備にあたっては、どのような施設にするか事前に話し合いを重ね、作業は住民や地区外のボランティアの協力を得て行った。

「抛り所ふじもと」は住民の交流スペースのほか、地元農産物などの販売も行っている。

特徴的な活動

①ホッケースティックを利用！田園ゴルフ大会

ホッカーのまち旧樋脇町ならではの、ホッケースティックを使ったゴルフ大会を、稲刈りが終わった後の田んぼをコースにして開催している。令和3年で第17回目となり、毎年、住民のイベントとして大きな楽しみとなっているほか、地域外からも幅広い年代の人が参加されており、地区の活性化につながっている。



田園ゴルフ大会

②交流の拠点！「抛り所ふじもと」

住民が意見を出し合い、作業も自分たちで行って作った施設。日用品、食料品や農産物の販売を行う「藤本ふれあい店」に併設されていることから、買い物ついでに住民が立ち寄り、イベントが開催されたりするなど、交流拠点として機能している。



抛り所ふじもと



抛り所ふじもと Instagram

今後の展望（コミプラの声）

人口減少・高齢化の課題解決に向けて、若い人のコミュニティの行事への参加を促す取組を始めていきたいと考えている。また、桜や紅葉の苗木を植樹することにより、四季によって様々な面を楽しめるような地域づくりを目指している。そのため、藤本地区のマップ作成にも力を入れている。

薩摩川内市から一言

地区の魅力を最大限生かした独自の活動を積極的に行っている地区です。現在、新たな名所づくりや地区を楽しく散策できるマップづくりに取り組んでいますので、是非皆さん藤本地区にお越しください。

利用した補助金など

- ・薩摩川内市地区コミュニティ活性化事業補助金（基本コース）（市）（H30年度）
- ・市町村振興助成金（公益財団法人鹿児島県市町村振興協会）（R3年度）
- ・「宝くじ桜」寄贈事業（公益財団法人日本さくらの会）（R3年度）



薩摩川内市
市民活動情報サイト
（藤本地区のページ）



薩摩川内
観光物産ガイド

Passion

持てる魅力を 最大限に活かすべし！！

高山地区公民館（日置市）

住民全員で行う地域づくり活動



地区の棚田

地区概要

日置市の最北端に位置する中山間地域。河川沿いに農地や棚田が点在する以外はほとんどが山林となっている。世帯の半数が独居高齢者世帯。

コミプラ設立の経緯、拠点整備

平成22年に地区を構成する6つの自治会を統合して「高山自治会」が誕生。平成23年に日置市のモデル地区に選定された。先進地視察、住民アンケート、住民参加のワークショップ、

NPO法人設立の勉強会等を重ねた後、平成25年に、地域住民全員が会員となる「NPO法人がんばろう高山」を設立した。同NPO法人を中心に、住民が一致団結して活動を行っている。

また、廃校となった小学校の施設を生かして、宿泊施設を備えた「高山地区交流センター」として開設し、大学サークル等の合宿を受け入れているほか、令和元年には、空き家となっていた旧上市来消防団高山分遣所を活用して「たかやま峠茶屋」を整備し、特産品の販売や住民の交流の場として活用している。

特徴的な活動

①住民の声から生まれた「お買い物ツアー」

移動手段を持たない独居高齢者が多いことから、月2～3回、地域住民を対象として、買い物や温泉などの施設への送迎を行っている。車両は市の補助を受けて購入したもので、NPO法



お買い物ツアー



棚田での稲刈体験

人の所有となっている。買い物支援については、民間の移動販売車に依頼し、週2回地区内を巡回してもらう形で実施していたが、それだけでは物足りないとの意見があったことから、地域で検証を重ねた結果、現在の形になったもので、高齢者を地域ぐるみで支える仕組みとなっている。

②地域外からも参加！地域資源を活かしたイベント

棚田や里山などの地域資源を活用した様々なイベントを実施している。

棚田での田植え・稲刈りの米作り体験、里山での山菜狩り体験のほか、毎年11月には「高山ふるさと祭り」を開催し、マス釣り大会やこんにやく作り体験なども行っている。

このようなイベントを定期的で開催することが、地域外の人たちが何度も高山地区を訪れるきっかけとなっており、NPO法人の貴重な収益源ともなっている。



マス釣り大会

今後の展望（コミプラの声）

「住民の交通手段」のサービス向上のさらなる充実を図るため、買い物代行・配達サービスを行いたいと考えている。

また、「たかやま峠茶屋」で、高山の農作物を利用した料理を提供する一方、農作物・加工品・お惣菜の販売や各種体験イベント等を通して日常的な交流を行い、さらなる地域住民の所得向上につながる事業の推進を図り、活力ある地域づくりに取り組んでいきたい。



たかやま峠茶屋

日置市から一言

高山地区は、行政に頼らない自助・共助による活動を目指しており、過疎地域のモデル的な地区となっています。市としても、人口減少や高齢化が進む中で、時代のニーズにあった共生・協働を推進していきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・共生・協働のむらづくり事業費補助金（県）（H28年度）
- ・日置市地域づくり推進事業交付金（市）（H26年度～）



高山地区公民館 | 鹿児島県日置市

Passion

住民全員で協力すべし！

農地から人づくり、地域づくりへ



リバーバンク森の学校（旧長谷小学校）

地区概要

旧川辺町の水田を中心とした稲作が盛んな中山間地域。4区17集落（自治会）で構成される。小学校周辺に人口が集中し、山間部に小規模集落が散在している。

コミプラ設立の経緯

平成30年に市のモデル地区に選定。住民アンケート、ワークショップ等を行い、令和2年2月に「高田未来づくり100年計画書」を策定（コミプラ設立）。

公民館長などの中心的なメンバー6名で構成

され、基本的な方向性を話し合うコア会議と、区長・若者代表など16名で構成され、具体的な事業などを話し合うクルー会議を中心に、壮年団、集落支援員、女性グループなどと連携して活動を行っている。



クルー会議での話し合い

特徴的な活動

①環境整備によるよりよい地域づくり

高田地区は、高齢化により各集落や個人で農地などの草払いを行うことが困難になっている。将来的には、重機等を補助事業を活用して購入し、作業を有償ボランティアで行う「環境整備隊」として収益事業とすることを目指しており、令和3年度からは試験的な事業を実施している。

地区としては、まずはこの事例を、自治会ごとでは解決できない課題を地区全体で解決できる事例として成功させることにより、住民の意識を変えていくことを期待している。



環境整備の様子

②地元産品の販売で農業の活性化

令和3年度から、地区内で生産される野菜や豆腐などの販売を行う「軽トラ市」を開催しており、住民の農業収入と生産への意欲を高めることにつながっている。

地区外の人も訪れるようになっており、今後は、販売品目を野菜だけでなく、大豆やソバなど他の種類や加工品へも拡大し、また、規約等を定めるなどして体制を整え、自主財源確保の手段としていきたいと考えている。



軽トラ市

今後の展望（コミプラの声）

「高田未来づくり100年計画」の16のプロジェクトの1つである子育て環境プロジェクトの検討を進め、子育て環境の改善を図っていきたく考えている。

また、南九州市の地域コミュニティは、自治会、区、地区の3つの組織があるため、重複する活動があるなど、活動が円滑に進まない面がある。今後ますます人口減少が進む中で、地域活動をより効率的に進められる組織・体制づくりに取り組んでいきたい。

南九州市から一言

高田地区は農業分野で表彰を受けるほど、壮年世代の人材が活躍しています。市としては、「高田未来づくり100年計画」に従って、計画的にプロジェクトが実行できるように支援していきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・コミュニティ・プラットフォーム形成促進事業（県）（R元・2年度）
- ・南九州市まちづくり事業（市）（R元年度～）



高田地区公民館 Facebook



高田まち歩きマップ

Passion

活動しやすい 組織づくりを行うべし！